

苗場山麓 ジオパーク

Vol.
79

振興協議会だより

【発行日】令和8年6月30日
【発行】苗場山麓ジオパーク推進室
【お問い合わせ】025-765-1600



日本地球惑星科学連合大会2026

令和8年5月23～24日に幕張メッセにて開催された、標記大会に事務局4名で参加してきました。JGN運営会議では、日本ジオパーク再認定審査地域と調査員が発表され、今年度再認定審査を控える苗場山麓ジオパークは、中田節也先生、吉岡敏和先生からお出でいただきます。よろしくお願いいたします。

また、当大会において、ジオパーク関係は「ガストロノミー」というテーマでセッションを行いました。ジオパークセッションでは、各地域のジオパーク・ガストロノミーにおける取組の発表がありました。地域によって食べ物の背景が異なり、興味深いものでした。

ポスターセッションにも参加し、「雪国の食文化とごっつお」と題し説明に立ちました。苗場山麓ジオパークの大きな特徴として、湿潤の雪が多く降ることにあります。約100日間、雪の中で暮らす豪雪地域における食料保存は、古来の文化的技術が反映されています。

春に採取した山菜を塩漬けや干して乾燥保存し、冬期間に食べることや、稲藁で編んだ釣鐘状の「大根つぐら」と呼ばれる天然の冷蔵庫は大根のほかに人参やゴボウなど野菜を貯蔵し、凍ることなく真冬でも新鮮な野菜を食べることができます。

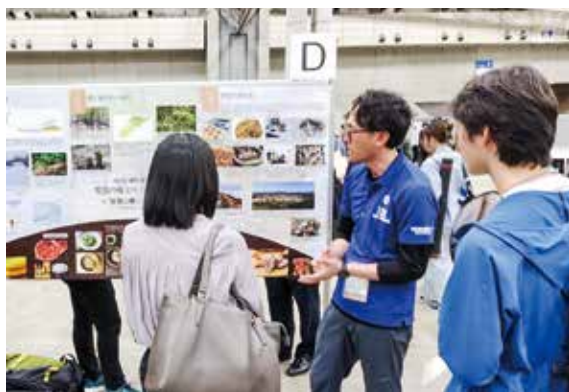
越冬するための保存方法や知恵が雪国の暮らしに詰まっており、脈々と受け継がれてきた食文化は、地域の人々の「ごっつお（ごちそう）」として今も親しまれています。

ジオパーク・ガストロノミーは、ジオパークの独自性を高めるうえで重要な役割を果たし、ジオパークというフィルターを通すことによって、より深みを加えることができると感じました。

※ガストロノミーとは、食事と文化の関係を考察すること（ウィキペディアより）



ポスター会場の様子



雪国の特色と食文化を紹介



大地のたからもの～苗場山麓ジオパーク認定商品ご紹介～

【信州秋山郷クロモジ和精油】

道の駅信越さかえ ※こちらでお求めいただけます。

〒389-2702

長野県下水内郡栄村北信3746番地1

☎ 0269-87-3180 営業時間 9:00～17:00

定休日：火曜日 オンライン販売：あり



ジオストーリー

クロモジは、昔から薬草の一つとして、酒造会社に出荷されていました。秋山郷ではクロモジ枝葉を煎じて飲んでいました。地元住民に馴染み深いクロモジを使ったアロマオイルになります。アロマディフューザーなどで使用することにより、クロモジのフローラルな香りが広がり、森林浴をしているような気分になります。

※苗場山麓ジオパーク振興協議会・商品開発部会事務局では、新規商品の申請について、随時ご相談を受け付けております。

【お問い合わせ】津南町役場観光地域づくり課 電話 025-765-5454



歩いて楽しむツアー・ダイジェストコース

令和8年度、苗場山麓ジオパーク事業のどなたでも参加いただける「歩いて楽しむツアー」を6月6日(土)に実施しました。今回は、廃校をリノベーションし、昨年秋にオープンした「津南町埋蔵文化財センター“うもれあ”」の施設見学を取り入れました。「うもれあ」見学終了後にマイクロバスで見玉公園まで移動し、「石落し」や「見玉不動尊」を巡る半日コースです。

昨年度、苗場山麓ジオパークガイドスキルアップ研修において、ジオパークエリアの拠点施設の一つ「津南町埋蔵文化財センター“うもれあ”」をツアーの中でどのように活用していくか意見を出し合い、ガイドマニュアルの試案を作成しました。そして、試案を基に今回のツアーを実施しました。



うもれあ見学の様子

はじめに「うもれあ」での滞在時間を40分と設定しましたが、当日は約60分の滞在時間となりました。その理由としては、見どころもりだくさんの展示や、訪れた人それぞれの興味をひく展示が1階と2階の各フロアにあるため、見学到時間を要してしまいました。今後、時間設定の見直しを検討する必要があります。

基本的に、「竪穴住居」や色々な時代の埋蔵文化財に関連した「発掘のあれこれ」、苗場山麓の地形・地質を知る「立体地形模型」などは、じっくりと見ていただきたい展示内容です。

少しご紹介すると、「竪穴住居」は、中津川(信濃川の支流)の左岸、沖ノ原に位置する縄文遺跡から出土した炉の跡を含む住居跡の痕跡から推測される住居を再現した原寸大のモデルです。また、「発掘のあれこれ」については今から50年前、実際に発掘作業に携わったガイドの一人から、当時使用した道具や長年の労苦を含めた説明を聞けたり、「立体地形模型」では、糸魚川ユネスコ世界ジオパークをはじめ、周辺のジオパークの位置や信濃川(千曲川)の源流から新潟県への流れを一望することができます。

「うもれあ」の次に向かった場所「石落し」「見玉不動尊」は、当地域おなじみの観光スポットです。学校のジオパーク学習でも必ず紹介するサイトとなっています。

今後も「うもれあ」をツアー見学の場所の一つとして盛り込む予定です。ガイドのスキルアップを兼ねて旧体育館での「総合展示」を中心に埋蔵文化財関連の展示も含め、お客さまに分かりやすく楽しくご案内が出来るように、認定ガイドの力量の向上に役立てたいと考えています。

お知らせ ※大勢のご参加お待ちしております!!

- 7月20日(月・祝) 9:00~15:00 中津川左岸トレッキング・石坂お堂~龍辰峰 集合場所:農と縄文の体験実習館なじょもん
- 7月26日(日) 6:30~17:30 NPO法人Tap主催:苗場山登山・小赤沢ルート~苗場山頂上 集合場所:津南町役場
- 8月8日(土) 13:30~16:00 認定ガイド研修「うもれあ」ガイド事例について 集合場所:埋蔵文化財センターうもれあ
- 9月12日(土) 9:00~13:00 ジオラフティング・栄村箕作~四ツ廻り~逆巻 集合場所:しなの荘



苗場山麓ぶらり旅のご紹介

5月31日(日)に苗場山麓ぶらり旅を開催しました。苗場山麓ぶらり旅は、苗場山麓地内の集落を歩いて巡るツアーです。歩く場所も大きな車道ではなく、集落内の小道や農道を歩き、普段、車で移動していると気が付くことのない自然の移り変わりを感じることができます。

今回は、大場、谷川、源内山、堂平、米原の各集落のエリアを歩きました。まず、大場の双体道祖神をご案内しました。これは、かつて大場集落のご神木の近くにあったものですが、ご神木が倒れ、道の付け替えもあり、現地に移動されたものなのですが、林の中にあるため案内なしでは訪れることが難しい場所なのです。辿り着くと肩を抱く男神と女神の道祖神が迎えてくれます。



その後、ニュー・グリーンピア津南の敷地内に安置される苗場神社を参拝したあと、源内山集落の諏訪社とお堂へ向かいました。集落の方にご協力いただき、社の中に入りご参拝させていただきました。各集落には、お宮とお堂が残されており、これらを巡りながら、集落と集落の間を結ぶ道を歩きながらガイドを行いました。参加者の中には地元の方もおり、逆に教えていただくエピソードや、エリア外から来られたお客様にもご自身の地域のことを教えていただき、相互で語り合いながらのぶらり旅となりました。この苗場山麓ぶらり旅は、毎年、歩きながら地域を知る取り組みとして実施しており、来年度以降も継続していく予定です。「農と縄文の体験実習館なじょもん」のホームページにご案内を載せますので、ご興味を持たれた方は、ぜひチェックしてみてください。





第12回 苗場山麓ジオパークフォトコンテスト作品大募集！



第12回苗場山麓ジオパークフォトコンテスト募集要項

専用サイトから らくらく簡単応募！

<https://naeba-geo.org/photo-con/>



応募締切

2026年12月25日(金) 17時

(郵送での応募は同日必着)

こんな作品を大募集！

- ・各ジオサイトの迫力ある景観やそれを楽しむ人の姿
- ・ジオサイトと共に暮らす人の営みや伝統文化・行事・祭り
- ・ジオサイトに生きる動植物たちのたくましい生命力

目的

このコンテストは、苗場山麓ジオパークの美しい景観や自然、里山の暮らしをテーマにし、優秀な作品を表彰するとともに、広報、普及、教育活動を通じて苗場山麓ジオパークに対する理解を深め、啓発活動を期待するものです。

部門

◆春部門 ◆夏部門 ◆秋部門 ◆冬部門 ◆暮らし・生活部門
◆祭り・伝統部門 ◆動・植物部門 ◆学生部門(高校生以下)

苗場山麓ジオパークのジオサイトを中心とした写真で、上記のいずれかの部門を選んで投稿してください。作品の芸術性および苗場山麓ジオパークのテーマでもあるジオ(大地)、エコ(動植物)、カルチャー(雪国文化・歴史)などをよく表している芸術性および教育・学術性が審査されます。

応募規定

<応募作品>

- ①未発表のものに限ります。応募作品は、他の出版媒体等に未発表で、他のコンテスト等に応募していない作品に限ります(個人のホームページ、授業・講演等の資料、コピー機による少部数の印刷物等で用いたことのある写真や、他のコンテスト等で落選が確定した作品についての応募は差し支えありません)。



- ②応募作品は、**応募者自身が撮影したもの**に限り、撮影日は問いません。
- ③1人 **1部門につき2作品まで**(3作品以上応募があった場合は、新しいものの2作品を審査し、他は審査対象外)応募できます。
- ④応募画像データは、**830万画素(A4プリント)以上**。(それ以下は審査対象外)ファイル形式はJPEGのみ(データ容量上限15M以下)。
- ⑤色のレタッチ、明度・彩度の補正は問いませんが、合成など加工・編集を加えた写真は審査の対象にはなりません。

<応募方法>

- ①画像データの場合…苗場山麓ジオパーク公式 WEB サイト内フォトコンテストページ(上記QRコード)よりご応募ください。
- ②プリント作品の場合…**2Lサイズの作品を「ジオフォトコンテスト係」まで**お送りください(送付先は書面右下)。作品は、**返却いたしません**。作品の裏面には、応募票(ウェブサイトに掲載)を貼付してください。応募票の内容は次のとおりです。氏名/ふりがな(匿名の方は投稿ネーム)・応募部門・タイトル・E-mail・電話番号・住所・撮影場所・撮影年月(不明な場合は撮影年)・写真データサイズ。

<注意事項>

- ※画像データ及びプリント作品いずれも、**入賞に関わらず応募作品は、同ページに公開されます**ので、ご理解いただいた方のみご応募ください(画像データの場合は、応募と同時にプリント作品の場合は後日、スキャンしサイトにアップいたします)。
- ※プリント作品の場合、**額装されたものは、受付できません**。また、公平な審査を行うため2Lよりも大きな作品をお送りいただいた場合は、スキャンし2Lにプリントしたもので審査いたします。作品の劣化はご了承ください。
- ※応募する写真は、**830万画素(A4プリント)以上のものを審査対象**とします。



こちらから
ご応募ください！

賞および副賞

- ◆最優秀賞(全作品の中から一点) **現金 30,000 円**
- ◆春部門 優秀賞(春部門の中から一点)
- ◆夏部門 優秀賞(夏部門の中から一点)
- ◆秋部門 優秀賞(秋部門の中から一点)
- ◆冬部門 優秀賞(冬部門の中から一点)
- 各**10,000円分相当の商品(魚沼産コシヒカリ+ジオ商品)**
- ◆暮らし・生活部門 スポンサー賞(暮らし・生活部門の中から一点)
- ◆祭り・伝統部門 スポンサー賞(祭り・伝統部門の中から一点)
- ◆動・植物部門 スポンサー賞(動・植物部門の中から一点)
- ◆学生部門(高校生以下) スポンサー賞(学生部門の中から一点)
- 宿泊券等のスポンサー高額提供商品**

◆この他スポンサー賞・審査員特別賞(全作品中20点以上を予定)

各スポンサーからの提供商品

- ①各受賞作品は WEB 上で紹介します。また、ニュース誌や展示会の際に作品タイトルと撮影者氏名など一覧を表示します(表彰は行いません)。
- ②応募する部門は、作品の意図などにより応募者の自由ですが、同じ作品を複数の部門へ応募することはできません。
- ③ジオ商品とは、トマトジュース・天然水・ジオ菓子・切手など選りすぐり苗場山麓ジオパーク関連グッズを事務局で選りお送りします。※商品は選べません。
- ④スポンサー賞は、各スポンサーからの提供商品となるため内容は到着までわかりません。前回のスポンサー賞は次のとおりでした。ニュー・グリーンピア津南賞、かたくりの宿賞、出口屋賞、津南観光物産館賞、月刊フォトコン賞、AMS 賞、旭商事賞、栄村秋山郷観光協会賞、柳さかえ賞、松屋賞、ワールドエコ賞、わくわく煎餅賞、苗場酒造賞、苗場山麓観光賞、萌木の里賞、川津屋賞、森宮交通賞、津南町観光協会賞、栄村物産館またたび賞、苗場荘賞。

審査および公表

主催者より任命された審査員により、厳正な審査を行います。審査結果についてのお問い合わせはお受けできません。ご応募頂いた作品は、2Lサイズにプリントして審査します。審査結果は、2027年2月中旬にホームページ上に公表し、入選以上の作品については苗場山麓ジオパーク事務局からその旨通知します。

その他

- ①選外となった応募作品の著作権は応募者に帰します。ただし入賞した作品の著作権および版権は、主催者に帰属し、印刷物、ホームページ、宣伝媒体等に無償で使用いたします。**作者が承諾いただけない場合は応募できません**。
- ②入賞作品は下記で展示する予定です。
・栄村役場(長野県栄村)・農と縄文の体験実習館なじもん(新潟県津南町卯之木)
- ③受賞決定後、入選者へは印刷物または展覧会等のため、より解像度の高い画像データ・ネガ・ポジフィルムの提出をお願いする場合があります。ネガ・ポジフィルムは後日返却いたします。データを記録した CD-R 等のメディアは返却いたしません。

主催

苗場山麓ジオパーク振興協議会 <https://www.naeba-geo.org/>

後援

長野県栄村、新潟県津南町、津南町観光協会、栄村秋山郷観光協会

お問い合わせ

苗場山麓ジオパーク推進室(農と縄文の体験実習館 なじもん内)
ジオパークフォトコンテスト係 平日 8:30~17:00(土日祝・年末年始はお休み)
〒949-8201 新潟県中魚沼郡津南町大字下船波乙 835
電話：025-765-1600 FAX:025-765-5511
e-mail: naeba36@naeba-geo.org



突撃しよう！となりのジオ便り～蔵王ジオパークからこんにちは～

蔵王ジオパークは、宮城・山形両県にまたがる蔵王連峰の東麓に抱かれた、宮城県蔵王町（ざおうまち）を中心とした地域です。ここには、活火山「蔵王山（ざおうざん）」をはじめ、短期間で活動を休止したとされる火山「青麻山（あおそやま）」、そして2つの火山の活動以前に起こった巨大噴火の名残をとどめる「円田盆地（えんだぼんち）」があります。これらの火山活動が生み出した地形は、水や土壌の性質に作用し、地域の生態系や山麓の人々の暮らしに大きな影響を与えてきました。

たくさん紹介したいことはあるのですが、今回は夏から秋にかけて楽しめる蔵王の「食」にスポットを当ててご紹介します。

町域内で約1,800 mもの標高差を持ち、多様な地質・地形に富む蔵王の大地は、生産される食材のバリエーションの豊かさにも深くつながっています。



たとえば、河川が山地から平野に流れ出る場所に形づくられる「扇状地」。蔵王山麓の七日原（なのかはら）扇状地では、水はけのよい土壌を活かして、大根をはじめとする高原野菜が栽培されています。また、このなだらかな地形と比較的冷涼な気候は酪農にも適しており、新鮮な生乳を使ったチーズの生産も盛んです。

さらに、地域の中心を流れる松川が作り出した階段状の地形（河岸段丘）の上は、水はけと日当たりが抜群。宮城県一の生産量を誇る梨をはじめ、桃やりんご、いちじくといった果樹栽培が盛んに行われています。ほかにも、川に近い低地や丘陵に囲まれた盆地などでは、美味しいお米が生産されてきました。

蔵王ジオパークは「火山と共に生きる」をテーマに、蔵王の大地に刻まれた「大地の遺産」を守り、次世代へつなぐために、保全・研究や教育、産業振興などの活動を行っています。

ぜひ蔵王ジオパークで、季節ごとに変化する景色や食、そして地域の「たからもの」を語る人々とのふれあいを楽しんでみませんか？みなさまのお越しを心よりお待ちしております！

蔵王の大地をめぐる旅の出発点“蔵王ジオパークセンター”

【所在地】蔵王町遠刈田温泉字遠刈田北山18-2 遠刈田地区公民館内

【開館時間】9:00～16:00

【休館日】月曜日（月曜祝日の場合は翌日休館）、年末年始

